

感染性胃腸炎が再増加/急性呼吸器感染症について/ユスリカ発生中

最大級の流行となっているノロウイルスによる感染性胃腸炎は、3月下旬から減少してきていたのが増加に転じています。大阪府では5月18日までの1週間で定点あたり9.26人(前週 6.39人)と再増加しました。GWで医療機関が休みだったので前週が少なかったことの反動もありますが、6月にもかなり流行することがあります。体調には十分注意し、手洗いを徹底してください。

新型コロナウイルスは5月18日までの1週間で全国で0.96人(前週 0.94人)、大阪府 0.86人(同 0.75人)と微増しました。海外では中国や香港、台湾、シンガポール、タイなどで感染拡大が見られ、オミクロン株のXDV系統の亜系統であるNB. 1. 8. 1が増加しているようです。日本も含めた東アジア地域では例年7~8月に夏の流行があるので注意が必要です。

急性呼吸器感染症について~新たなサーベイランスが始まる~

今年の4月からふつうの風邪も含めた急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection:ARI)が、新たに感染症法の5類感染症として定点

サーベイランスの対症となっています。急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す

病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなども含まれます。

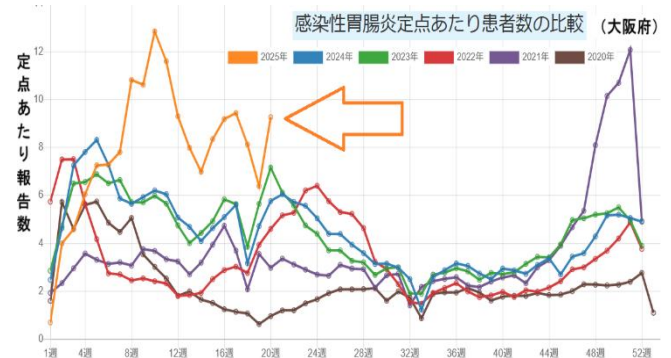
全国約3000か所の医療機関から患者数が報告され、その報告数が公表されるだけで、新たな就業制限や登校制限などの対象となることはなく、病院や施設などの面会制限等が変わることもありません。全国で約300の医療機関で検体が採取され、流行しやすい感染症の注意喚起を早急に行うことで国民の安全・安心を守ることを目指しています。

5月18日までの1週間で大阪府の急性呼吸器感染症は定点あたり報告数は40.58人で(前週 32.73人)、24%の増加となっています。40%が1~4歳で、南河内 60.00人、北河内 51.63人、堺市 45.56人と多くなっています。

6月はユスリカが大量発生しますが刺されることはありません

万博会場場で羽虫が大量発生していると話題になっていますが正体はユスリカのようなのです。気温が高くなってくると、夕暮れの川沿いの遊歩道など『蚊柱』が発生しますが、これはユスリカが無数に集まっているのです。見た目は蚊、特にアカイエカに似ていますが、全く異なる別の虫で、蚊のように人や動物から吸血することはありません。成虫は口や消化器が退化していてエサも食べません。ユスリカの幼虫は側溝や下水、どぶなどで発生し、蛹(さなぎ)になり、初夏から秋くらいまでに羽化して成虫になります。オスは大群になって羽音を鳴らし、メスを呼び寄せます。灯りに引き寄せられる性質があるため、街灯の下に集まったり、民家に飛び込んだりもします。遮光性のあるカーテンを使用して、灯りが外に漏れないようにしましょう。川沿いや街灯の周辺を通るときは蚊柱に注意しましょう。自転車移動ではメガネやマスクでガードするなど、目や口に入らないよう工夫しましょう。

ユスリカの幼虫は水の中の有機物を食べて成長するため、川や池などの水質浄化や水底の土壌保全に役立っているようです。



急性呼吸器感染症 (ARI) の症例定義

- ・ 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症状を呈す
- ・ 発症から10日以内の急性的な症状
- ・ 医師が感染症を疑う外来症例

※発熱を伴わない頻度が比較的高いRSウイルス感染症等も幅広く含めることができるように「発熱の有無を問わない」定義とする。

